

鶺の木地区地域情報紙 第115号

さんぽみち



発行：地域力推進鶺の木地区委員会
編集：鶺の木地区 地域情報紙編集委員会
事務局：鶺の木特別出張所
電話 (3750)4241 FAX (3750)2418

鶺の木特別出張所管内の人口
(令和6年12月1日現在)

男	12,627人
女	14,124人
計	26,751人
世帯数	15,228世帯

防災訓練をきっかけに地域の絆を深める鶺の木

～ 自分や家族を守り、地域みんなで助け合う ～

明けましておめでとうございます。新しい年が素晴らしい年でありますように、心からお祈り申し上げます。さて、昨年10月に実施した「嶺町小学校防災活動拠点訓練」は、町会役員だけで行う避難所運営訓練ではなく、一般参加者も募り、数年ぶりに総合防災訓練のかたちで実施されました。長年、町会で防災を担当してきた堀江敏雄鶺の木地区町会連合会会長はこう語ります。

「令和元年の台風19号をきっかけに町会防災マニュアルの作成や防災訓練を行ってきましたが、新型コロナの影響で防災訓練の実施は見合わせてきました。しかし、災害対策は待たなしで、水害時避難所ではない嶺町小学校では役員中心に図上訓練のHUG訓練をはじめ、水害時の避難所となる東調布第三小学校の防災訓練など地域を超えた避難訓練も行ってきましたが、新型コロナ感染防止の観点から共助の意識も薄れてきています。そこで、今回改めて一般参加者を含め、体験型の総合防災訓練（詳細は3面）を行いました。『訓練をきっかけに地域の絆をより深めたい』と思ったからです。多摩川に隣接し、災害リスクが低い地域だからこそ、子どもから高齢者まで幅広い世代が力を合わせ、自助から共助へと向かう地域の土台ができれば、いずれ災害が起きる際に、その絆が多くの人を守ることに繋がります。『訓練だからこそ出来ないことを知るきっかけに!』、『誰でも、できなくても、とにかくやってみる!』を合言葉に今後も地域みんなで気軽に楽しく防災活動を続けていきたいと思えます」。

住み続けられる安全安心なまちづくり (SDGs) を目指して、鶺の木地区の取組を続けましょう。(編集委員一同)



鶺の木地区町会連合会は、大田区から「SDGsおたスカイパートナー」に認定されました。

「SDGsおたスカイパートナー」とは、SDGsの達成に向けて取り組む事業者等を区が認定し、公民一体となり、持続可能な地域社会の実現を目指すものです。



南久が原一丁目町会 会長 野口 伸雄
千鳥北町会 会長 久保井 啓雄
鶺の木三丁目町会 会長 掛川 正昭
鶺の木東町会 会長 久保井 良実
鶺の木特別出張所 所長 片寄 洋志
鶺の木地区町会連合会 会長 (鶺の木二丁目町会 会長) 堀江 敏雄
千鳥南町会 会長 大戸 重雄
鶺の木西町会 会長 美谷島 善昭

第19回 「高齢者ふれあいフェスタ」を開催します!

令和7年3月7日(金) 大田区民プラザにて

午後1時から4時まで 展示室・小ホール

新型コロナウイルス感染防止、改修工事の為、大田区民プラザでは6年ぶりの開催となります。思い返せば第1回には、全くどう進めていいのかわからず思考錯誤し、地元企業の方々にもお力をいただきましょと、キヤノン(株)、ユザワヤ商事(株)、専門学校美容学校等にお問い合わせいただき快諾して頂き、素晴らしいイベントのスタートが出来ました。その後、各元気塾の出品体験のコーナー、福祉施設で作っているパンの販売、被災地東松島の商品の販売等々、フェスタの内容の充実をはかり、回を増すごとに皆様に大変喜んで頂きました。今回の6年ぶりの大田区民プラザでの開催は、また一からのスタートになります。初心を忘れず、皆様の笑顔が出るよう、企業にもアタックし、明るく、元気な「高齢者ふれあいフェスタ」を計画しています。ご来場お待ちしております。(実行委員長 萩原 和子)

第28回「鶺の木地区連合運動会」を開催しました!

令和6年10月27日(日) 大森第七中学校にて

天気予報の傘マークが日に日に小さくなり、当日は心配された天候もお陰様で晴天バージョンでの開催となりました。各担当係の万全の準備から、とてもスムーズな進行で、実行委員の皆さんが取り組んできた苦勞が報われました。

今回の隠れテーマは「防災」で、参加賞には防災を意識した賞品を多数用意しました。運動会を機に、同じ町会でも面識の無かった人が見知った顔となり、他の町会の皆さまとも協力し合える関係の構築ができたと思います。また、普段の運動不足を再認識していただき、各位の健康増進のキッカケとなったでしょう。

最後に50人を超える大森第七中学校生徒ボランティア、各町会から選出いただいた実行委員、PTA・PTOの皆様のご協力に深く感謝申し上げます。(実行委員長 森田 光一)



要支援者の災害時避難支援研修

令和6年9月11日(水)

ハザードマップを用いて鶺の木地区の災害リスクについて理解を深めました。また、町会ごとに分かれ、地域にお住まいで支援を必要とされる方がご自宅から避難場所へ安全に避難するため、地図などを使って確認しました。

市民消火隊等合同訓練

令和6年11月17日(日) (田園調布及び矢口消防署管内)

多摩川清掃工場にて開催されました。鶺の木地区からは鶺の木東町会、鶺の木西町会、鶺の木二丁目町会、鶺の木三丁目町会、千鳥南町会の5団体が参加し、日頃の訓練成果を発表するとともに、地域の防災行動力の向上を図りました。

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年、日本列島は地震や10年に一度といわれる規模の大雨が各地で頻繁に起きるなどの大きな自然災害に見舞われました。

多くの人は災害増加傾向を懸念しているが、実際は残念ながら「自分は大丈夫だろう」と、具体的な防災対策をしていないのが現状ではないのでしょうか。本号では災害対策の大切さを特集いたしました。

出来ることから防災対策の行動が求められます。まずは防災グッズを自分自身で準備することが重要では。

編集長 井上 純一

表彰

令和6年度東京都赤十字大会
金梓支部長感謝状(10年以上)
・鶺の木三丁目町会 掛川 正昭
高橋 千代子
柳田 ミサ
令和6年度 鶺の木二丁目町会 (敬称略)
献血功労者東京都知事感謝状贈呈

今後の行事予定

鶺の木地区町会連合会 公式LINE

「イベント情報」をクリック



町会SDGsの取組み紹介(防災)



嶺町小学校で防災訓練を開催しました！ 令和6年10月6日(日)

令和6年10月6日(日)に嶺町小学校にて防災訓練を開催しました。例年、町会の方が中心となり行っていましたが、今年度は初めての試みとして、大田区地域力推進課区民協働担当・micsおおた・大田区社会福祉協議会と連携した訓練を行いました。

被災地でのボランティア経験が豊富な、micsおおたの方を中心に、土のう積みや避難所スペースの作成、災害用トイレの使い方を、参加者の皆様に実際に体験しながら、学んでいただきました。

他にも、防災講話や備蓄食料の試食会、備蓄倉庫の見学などを通じ、地域住民の皆様の防災知識・防災意識の向上を図りました。

参加者へのアンケートでは、今回の訓練について「役に立った」という感想を、9割以上の方にいただきました。



★訓練内容

- 土のう積み
- 避難所スペースの作り方
- 災害用トイレの使い方
- 講話「被災地支援の経験から」
- 防災備蓄倉庫の見学
- 防災備蓄食料の試食会(レトルト、アルファ化米)
- 市民消防隊の放水訓練見学

参加者の声

土のう積み体験



結び目を下にする、平らに積むなど、知らなかったことを知れた。

バケツリレーをするときには、横一列ではなく交互に並ぶというのが参考になった。

避難所スペースづくり



通路を確保しておくというのは気付かなかった。

高齢者が座りやすいよう、高さを作るというのは目からウロコでした。

災害用トイレ使用体験



凝固剤は、使用前・使用后どちらが先でも構わないとのこと分かり良かった。

失敗する、ということ想定していなかったのですがとても勉強になりました。家族にも伝えます。

講話「被災地支援の経験から」



実体験を生々の声で聞けて、とても参考になった。

自分の身に起きないと知りえないことを聞くことができ、助かりました。

学校防災備蓄倉庫について

大田区では災害時に家屋を失った人が応急的な生活を行える場として、区立小・中学校87か所および4か所の区施設を避難所として指定しています。各避難所に防災備蓄倉庫を設け、必要最小限の食糧や日用品(簡易トイレ、紙おむつ、毛布など)を備蓄しています。

現在、避難所1か所あたり約1,500人分の備蓄を行っています。食糧については「被害想定者2,000人の1日分」を常時備蓄し、発災2日目以降の分は東京都が備蓄・調達する役割となっています。ただし大規模災害時にはいくら準備しても十分ということはありません。普段から自宅での備蓄やローリングストックを心がけましょう。

また、避難所訓練の際は積極的に参加し、防災備蓄倉庫の中身を自分で確認しておくこともいざという時のために大切です。



防災備蓄倉庫の様子(写真は大森七中)

備蓄物品一覧はこちらから



町会の防災訓練

南久が原一丁目町会 令和6年10月19日(土)

南久が原児童公園で防災訓練を実施しました。大田区、田園調布消防署、地域の消防団のご協力を仰ぎ、成功裏に終了しました。

例年のAED訓練、水消火訓練、煙脱出訓練、起震車体験に加え、今年は緊急時通報訓練も行いました。

当日は晴天となり、10月とは思えない暑さにも見舞われましたが、親子連れが多く訪れ、お子さんの活躍を喜ぶ親御さん達の姿が印象的でした。

初めて震度7の揺れも体験し、これが現実となった様子を想像し、あまりのすごさに衝撃を受けました。(町会長 野口 伸雄)



鶉の木西町会 令和6年11月10日(日)

鶉の木松山公園にて、総勢192名が集まり、防災訓練を行いました。今年は抽選で起震車が当たり、例年の田園調布消防署による煙体験、通信の他、AED、放水体験では皆さん熱心に訓練をされていました。

公園の広場は広いのですが、4トントラック並みの起震車と消防署ポンプ車の配置に事前準備が必要との教訓を得ました。

町会役員と消防団、応援の皆さんの協力により無事開催できたことを感謝しています。(防災部長 本田 秀幸)



水害時の避難場所について、再度ご確認ください!! 「さんぼみち第105号」鶉の木地区の防災(風水害編)保存版

